



道路建設産業労働組合協議会

〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 (NIPPO労働組合内)

電話03 (3563) 6744

URL <http://www.doukenroukyou.com>

2019年 年頭挨拶

道建労協加盟単組の組合員ならびにご家族の皆様、明けましておめでとうございます。

新春をご家族の皆様と共に明るくお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、年末年始にもかかわらず業務に従事された皆様には心より慰労の意を表します。

昨年を振り返りますと、平昌オリンピックで羽生選手ははじめ4種目で金メダルを獲得し、ロシアワールドカップでは日本代表はベスト8を逃したものの素晴らしい試合を見せてくれました。野球では大谷選手が二刀流でメジャー新人王を獲得しました。今年はラグビーワールドカップが日本で開催されます。4年前に南アフリカに勝利したような衝撃的な試合を見せてほしいと思います。

国内では6月に大阪地震、7月に西日本豪雨、9月には台風21号、北海道地震と、毎月大災害が起きました。被災された方々にお見舞い申し上げます。10月には第4次安倍内閣が発足し、政権は7年目を迎え景気は回復基調が続いていますが、世界の動向の影響が大きく、金融資本市場の変動に影響があり、十分留意しなければいけません。

企業業績は大企業を中心におおむね良好な状態が続いており、日銀短観でも「全規模全産業でおおむね横ばい」との判断になっています。

一方、我々が置かれている道路建設産業に目を向けると、営業停止処分の影響と、昨年からの原材料価格上昇の影響が強く厳しい状況です。このような中、働き方改革関連法案が可決・成立し、4月より労働時間管理は上限時間が設定され、罰則付きとなります。建設業は5年の猶予はありますが、計画的に残業時間を減らしていかなくてはなりません。

働き方改革の取り組みについて、目に見えた成果は実感していないと思いますが、「所長に早く帰れと言われる」「平日でも休みやすくなった」という声がどこへ行っても聞こえるようになってきました。皆さんの職場の雰囲気も徐々に変わってきているのではないのでしょうか。私達道建労協は、これからも皆さんの声をしっかりと受け止めながら、十分に議論し各団体、各企業に提言し、道路建設産業を志す若者が希望を持って安心して働ける魅力ある産業を実現するために活動していきますので、引き続きのご支援とご協力をお願い致します。

最後になりますが、本年が組合員の皆さんとご家族にとって健康で実りある素晴らしい一年となりますよう祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

道建労協 議長 赤田 淳



フリー
ウェイ

【大事な時間とは・・・】

世間には、家族と離れて単身赴任生活をしている方がいます。家族のことも忘れ、自分の趣味のために時間を使うことができます。しかしながら、家族と毎日一緒にいないために子供に関して発生する日々の小さな問題、子供の成長していく様子を見ることができません。どうしてもないことですが、子供が成長して大人になった時に親父と一緒に時間を過ごした記憶は少ないことでしょうか。

各社4週6休に向けた取組みを展開しておりますが、休日を取得し家族旅行に行くことも素敵な思い出になります。まずは「休日に家族で外出し、夕飯は家族揃って食べる」ような普通の生活が行えるような社会になるように取り組んでいきましょう。

三井住建道路労働組合
沢尾 賢一

企業訪問・関係団体訪問

11月土曜閉所強調月間に合わせて、今年度も10月に各加盟単組企業や関係団体へ協力要請を行いました。また、2018年10月16日～19日にかけて、地協のない地域交流会の前に四国、中国、九州地区の各加盟単組支店や関係団体へも協力要請を行いました。政府による「働き方改革関連法案」が可決・成立し、時間外労働の罰則付き上限規制導入が控えている中で、加盟単組全体での閉所率はまだまだ低く、工事部門と製造部門で閉所についての課題や問題は異なり、また地域性も顕著に数字に現れております。各社各団体へ訪問の時に、各社の社長は「働き方改革」の実現に対して最優先課題として受け止めており、また、次世代の担い手確保、業界の魅力化という観点から、危機感を持ち、取り組む姿勢を示しています。

社会・業界が変化している中で、私たち一人ひとりが「働き方改革」の実現に対して行動しなければなりません。私たち一人ひとりが、働き方を変える意識と行動がなければ、改革の実現は難しいものになります。道建労協では、実態把握を行い、優れた取り組みでは水平展開をして土曜閉所が定着できるように、業界団体、関係諸団体や加盟単組企業とともに連携した取り組みを模索してまいります。

大成ロテック社員組合 江島 貴行

各加盟単組企業及び関係団体訪問(2018年10月1日～12日)



【四国地区】各加盟単組企業支店及び関係団体訪問(2018年10月16日)



【中国地区】各加盟単組企業支店及び関係団体訪問(2018年10月17日～18日)



【九州地区】各加盟単組企業支店及び関係団体訪問(2018年10月18日～19日)



地協のな!地域の交流会

四国地区

2018年10月16日(火)、高松東急REIホテルにおいて「道建労協 四国地区交流会」が開催されました。半数以上が昨年と同じ顔ぶれでしたので、良い雰囲気での交流会となりました。働き方改革の取り組みが中心の意見交換となりましたが、「レクで休みを呼びかけている」「女性社員を雇用了」「振替休日を積極的に使用している」等、いろいろな意見がでてきました。四国の中でも香川県の合材工場は第2土曜閉所が定着しており、取り組みやすい環境なのかもしれません。11月のアンケートでは四国の閉所率が上がっていることを期待しています。

懇親会は単組関係なく盛り上がっていました。他社との交流が少ない昨今、地域交流会は貴重な場であると感じています。来年も多くのご参加お待ちしております。



NIPPO 労働組合 赤田 淳

中国地区

2018年10月17日(水)、広島市内にあるホテルセンチュリー21広島にて道建労協中国地区地域交流会が開催されました。当日は、業務繁忙にも関わらず、当地の組合員の方々13名が参加して下さいました。翌月は11月土曜閉所強調期間もあり、赤田議長や龍王事務局長より土曜閉所活動の現況についてお話がありました。その他、道建労協に関する説明等を経て、加盟単組の参加者による意見交換が行なわれました。各単組で取り組んでいる事項や参加者が日頃感じていること等が述べられ、熱気ある議論が交わされました。オフィスカーの導入や直行直帰制度またはウェアラブルカメラなどのIT技術を用いた時短対策、振替休日を取得しやすい職場環境の整備が紹介されると共に、「会社施策」と「個人意識」の両輪により推進していくことが重要との意見が出ました。実現に向けて、依然として諸問題を抱える業界ですが、会社から与えられた「モノ」を使い、いかに自分の時間を創り出すかを真剣に語り合う時間となった交流会でした。



大林道路職員組合 尾崎 吉明

九州地区

2018年10月19日(金)西鉄ホテルクルーム博多において、各単組と本部合わせて総勢19名で「道建労協 九州地区交流会」が開催されました。11月土曜閉所推進運動の取り組みについて、赤田議長・龍王事務局長より説明がありました。土曜閉所について、九州地区の合材工場の土曜閉所は、福岡県の一部の地域と大分県では日合協の第2・第4土曜閉所活動が浸透してきておりますが、その他の県は地元企業の理解を得られなかったり、各工場任せであったりと、温度差があるとのことでした。

各単組の時短への取組みとしては、直行直帰制度を取り入れている単組も多く、会社側もプロジェクトチームを立ち上げたりと、労使共に「働き方改革」の意識は高まってきていると感じました。4週8休に向けて、引き続き発注者への要請をお願いいたします。

懇親会では、お互いの単組活動を通じて色々な意見を交換し、全体を通して大変有意義な交流会となりました。



前田道路労働組合 桂田 哲郎

全国ボウリング大会

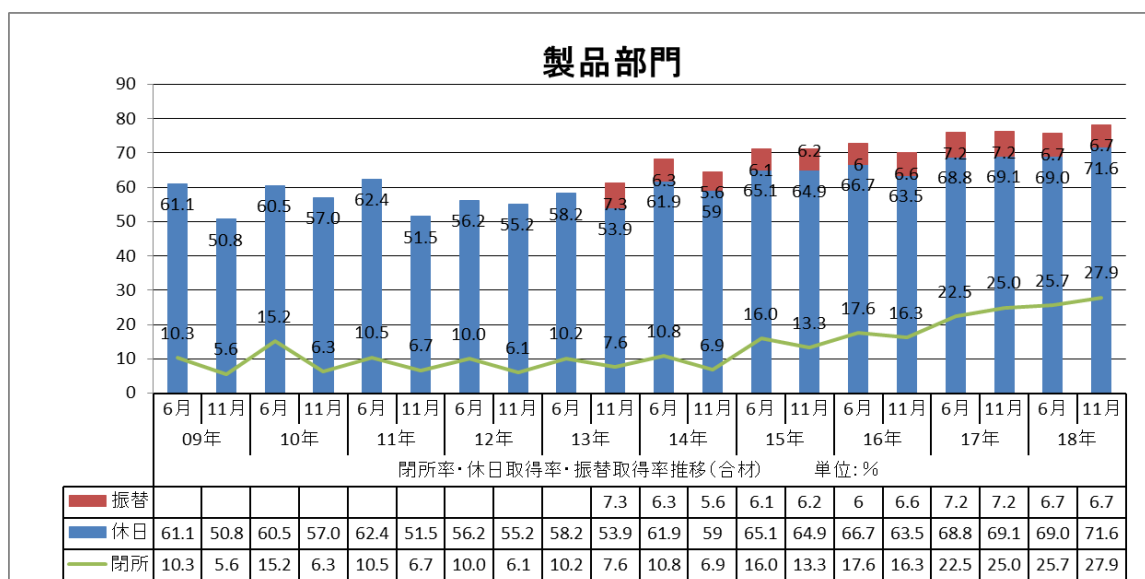
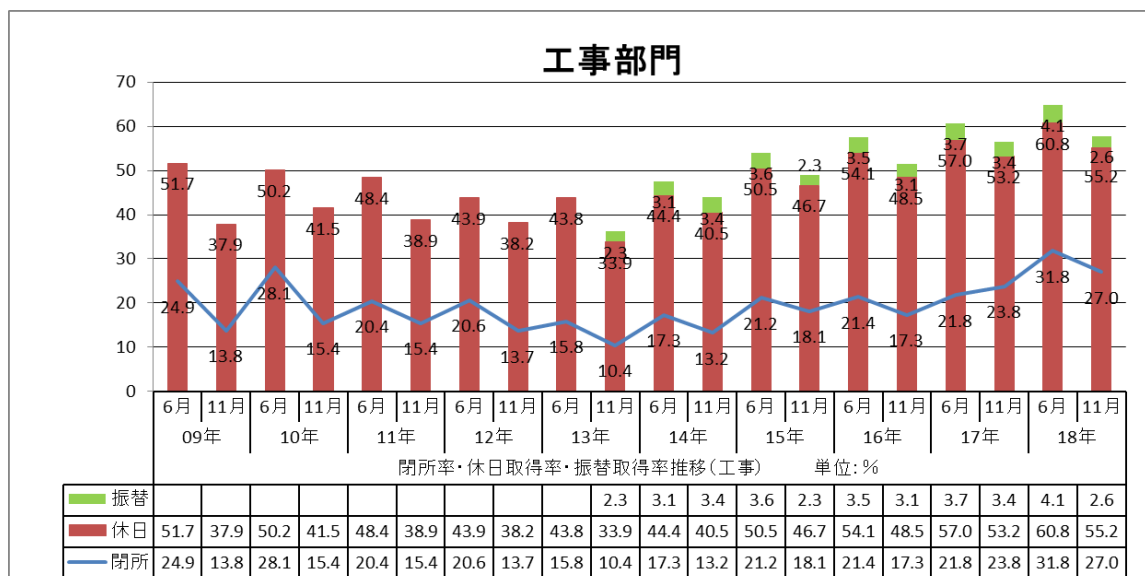
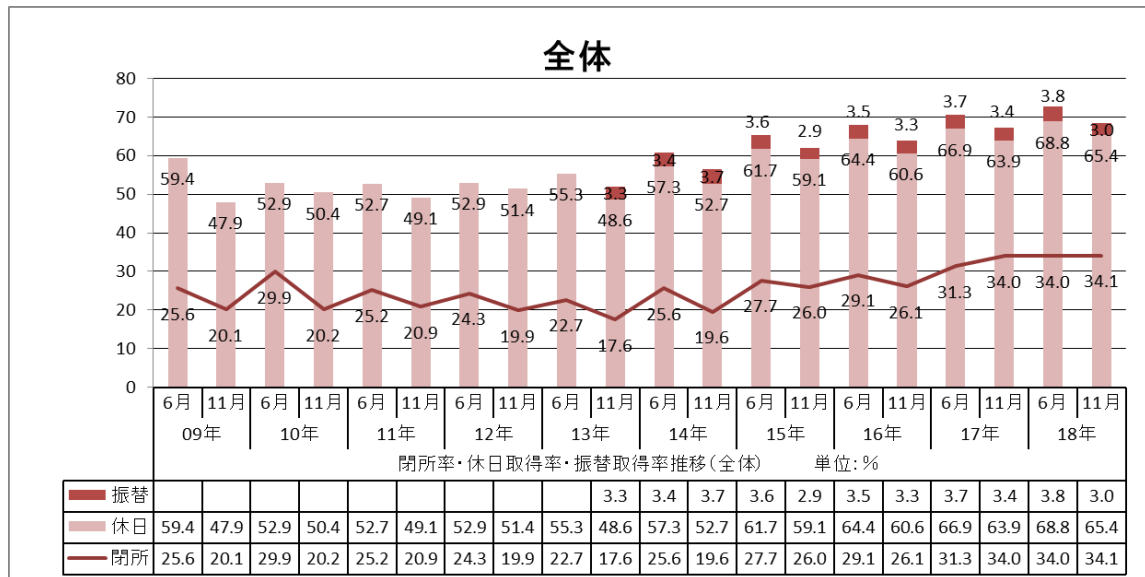
11月第2土曜閉所強調月間のうち、統一土曜閉所日とされている第2土曜日は道建労協にて毎年恒例の全国ボーリング大会が開催されています。今年は第5回目を迎えましたが、2018年11月10日（土）に全国のラウンドワンを舞台にして腕に覚えのある組合員およびご家族の方々により熱戦が繰り広げられました。全国12ヶ所の会場で、総勢279名の参加者が集い、お子様が41名も挑戦してくれました。接戦を制し、見事総合優勝されたのは、トータルスコア369点の前田道路労働組合宮本裕美さんです！！おめでとうございます。私も家族を連れて参加しましたが、昨年と同じく、今年も全く自慢できないスコアとなりました。ということで、家族でボーリングに出掛ける機会は皆無なため、小学校5年生になる我が家の娘にとっては年1回の楽しい行事となりつつあります。11月第2土曜日は、皆様に休んでいただきたいとの思いからボーリング大会を開催しています。組合員の皆様には様々な「11月第2土曜日」を過ごされたかと思いますが、『土曜日は休日』という意識を持ち続けていただくことが大切と考えます。最後に、開催にあたり各会場の幹事様はじめサポートしていただいた皆様に深く御礼申し上げます。

大林道路職員組合 尾崎 吉明



土曜閉所率・休日取得率の推移

※2018 年 11 月の土曜閉所推進運動アンケート集計結果につきましては、別途発行の「PAVE 番外編」に掲載いたします。



物知りクイズ

新年あけましておめでとうございます。昨年の11月末では東京地方に木枯らしが吹かず、冬はまだ先かと思われていましたが、すっかり寒波も到来し、厳しい寒さが続く日々となりました。年度末に向けて仕事も最盛期になっていきますが、健康と安全には気をつけて、厳しい年度末の冬を乗り切ってください。

今回の「物知りクイズ」は「冬」をテーマに出題します。知っているようで知らない事もあります。「冬」に関するちょっとした雑学問題です。皆さんはいくつ回答できるでしょうか？

Q1. 今年（2019年）の12月22日は二十四節気では何でしょうか？

- ① 立冬 ② 冬至 ③ 小寒 ④ 大寒

Q2. 気象用語で、「日最低気温が0℃未満の日」を何と言うでしょうか？

- ① 冬日 ② 真冬日 ③ 小冬日 ④ 寒日

Q3. 星座の「冬の三大三角形」を構成する星座、「オリオン座」と「こいぬ座」とあと一つは何座でしょうか？

- ① おおぐま座 ② はくちょう座 ③ ペガサス座 ④ おおいぬ座

Q4. 魚へんに「冬」で何と読むでしょうか？

- ① さわら ② わかし ③ かじか ④ このしろ

＜応募方法＞ 下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。たくさんのご応募をお待ちしております。

●解答 ●住所（会社宛の場合は会社名もご記入ください）

●氏名 ●所属単組名

●今回の紙面でよかった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。

●締め切り 2月28日（木）

●宛先 〒135-0051 東京都江東区枝川2-13-1 前田道路労働組合内 道路建設産業労働組合協議会「PAVE」宛

Fax: 03-6458-4085 E-mail: kumiai@maedaroad.co.jp

■PAVE96号物知りクイズ当選者

該当者なし

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

2018年は地震、台風、豪雨など自然災害が数多く発生し、多くの犠牲者、甚大な被害が出たことに対し、改めて防災に対する意識の向上と早急な対策が必要と感じた1年でした。2019年は、天皇陛下の退位、皇太子さまの即位と元号の改元、消費税10%への引き上げなど、歴史の節目となりそうです。

また、働き方改革関連法については今年の4月1日より施行されます。建設業においては5年の猶予期間が設けられておりますが、現状を考えると時間外労働削減、休日取得について、今後より一層の努力が必要であると感じます。

一人一人が強い意識を持ち、根気強くこの問題に対して取り組むことにより、ワーク・ライフ・バランスの実現につながっていくのではないのでしょうか。

道建労協では、引き続き各関係省庁および企業訪問で土曜閉所の要請を行っていきます。労働環境の改善に向けて、一歩ずつ確実にできることから実行していきましょう。2019年が道路建設産業にとって改革の年となるように！！

フジタ道路職員組合 増本 正博